



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和6年9月30日(月)
創立72周年 No. 6

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



なぜからはじまる「知る楽しさ」や「分かる喜び」を楽しむ秋に♪ 校長 河野 芳浩

連日の暑さは大気を不安定にさせ、急な落雷、ゲリラ豪雨に見舞われる日々が日常になってしまいました。そんな異常とも言える気候であっても、花や木々は季節を感じ、秋らしさを私たちに知らせてくれています。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、秋分の日のころを境に秋らしい涼しさを感じられるようになりました。

9月半ば、正門近くの桜の木から少しずつ、落ち葉が舞うようになりました。何日か経つと色付いた落ち葉と一緒に黒いジャリジャリした大量の粒も落ちていくことに気がきました。日に日に粒の量が多くなり、歩道や通路が真っ黒になった頃、ようやく粒の正体が分かりました。毛虫が桜の木から落ちてきて地面をはい回っていたからです。毛虫は、桜の木につくモンクロシャチホコという蛾の幼虫で、黒い粒は、幼虫が桜の葉をおいしく食べたあとの落とし物でした。

昨年と同じ毛虫が発生したことを思い出しました。その時は、検索をして、この毛虫には毒はないこと、刺さないこと、害もないことが分かり、子供たちにも「毒はないから大丈夫」と、さほど気に留めていませんでしたが、今年は、あまりにもたくさんはい回っているの、興味がわき、新しい疑問が生まれました。「なぜ落ちて地面をはい回るのだろう」という疑問です。チョウは、葉を食べ、葉に蛹を作り羽化します。この毛虫も桜の葉を食べ、蛹を作れば地面に下りる危険をおかさなくてすむのにと考えました。調べてみると、ちゃんと理由がありました。幼虫は、土にもぐって蛹で冬を越すのだそうです。毛虫は、土にもぐりたくて必死ではい回り、通路では土が見つけられなくて困っていることに気がきました。それに気付いてからは、子供たちと毛虫を見つけては、地面をはっている毛虫はそのままに、通路で困っている毛虫は、土に戻してあげました。

毛虫は、一週間ほどで姿を見せなくなり、毛虫騒動もひと段落となりました。毛虫のおかげで、知る楽しさ、考える面白さに触れることができました。そしてどんなことでも学びになることを嬉しく思いました。

10月5日は、いよいよ運動会本番です。運動会もとても素晴らしい学びの場です。運動会を通して友達との交流を深め、なりたい自分の姿、つけたい力をめあてにもち、友達と協働しながら学びを深めて行ってほしいと思います。

今月も子どもたちの限りない成長を願い、学校と保護者・地域の皆さまとの「みとめあい・まなびあい・そだてあい」に励んでまいります。「知る楽しさ」や「分かる喜び」を楽しむ秋になりますように。

今月も学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

10月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございます。暑さも落ち着き、ようやく秋がやってきます。さわやかな青空の下で、のびのびと体を動かしたくなるたのしくすてきな季節です。

みんなのけんこうがささえられて、まいにちたのしくすごすことができますように。

新しく年をかさね、いつもよろこび、つねにかんがえ、すべてのことにかんしゃしながら、新しいチャレンジを楽しんでくださいね。おうえんしています。